

平成25年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名: 道路環境課

担当名: 交通事故緊急対策担当

内線: 5098

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B3	道路安全施設費			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路安全施設費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 道路法			戦略項目	05	大規模災害への備え	
					分野施策	030301	埼玉の活力を高める道路整備		
1 事業の概要 トンネル内での重大事故など非常時の消防救急活動の通信手段確保のため、消防本部の法令によるデジタル化移行の予定とあわせ、長大トンネルに設置されている通信補助設備のデジタル化を実施する。 (1) 緊急防災・減災分 115,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 消防救急無線は、電波法に関する訓令により平成28年5月31日までにデジタル方式に移行することとされている。このため、長大トンネルに設置した消防救急が運用する無線通信補助設備のデジタル化を実施するものである。 (2) 事業箇所 一般国道299号(正丸トンネル) 一般国道140号(大峰トンネル) 一般国道140号(美の山トンネル) 一般国道140号(寄居トンネル・風布トンネル) (3) 事業効果 各消防本部での無線デジタル化の対応とあわせ、トンネルの無線通信補助施設のデジタル化を実施することにより、長大トンネル内で発生した重大事故時の円滑な消防救急活動を可能とする。 (4) その他 緊急防災減災債対象理由 緊急防災減災債メニュー「消防救急無線のデジタル化」						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 緊急防災・減災事業債 充当率 100% 元利償還金の70%について基準財政需要額に算入									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		諸収入	県債						
決定額	115,000		115,000						
現計額	1,680,163	13,500					1,666,663		